

シリーズ ⑤⑤

我が家の家庭教育

芝崎 岩澤初江

“がんばってやってごらん”

きれいだなあ。この色って子供の頃、何のためらいもなく塗る事のできた本当の空色じゃないかしら。

久しぶりの澄んだ秋空を見上げ、ふと、庭の片隅に目を落とした時、飛び込んできたのは一本の楼の木。そう、これは小学校三年になる長男の入学記念樹。あんなに鮮やか

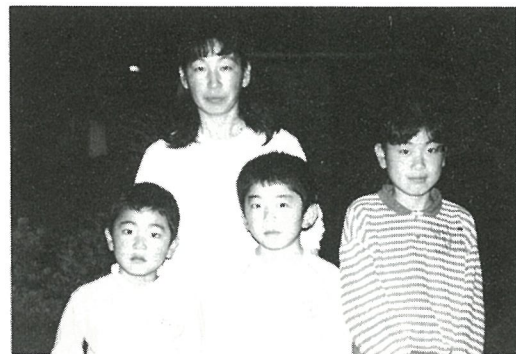
な緑の葉を付けて夏空に背伸びをしていたのに、もう黄色に変わった葉が半分も落ちてしまっています。

あれっ？ この木いつの間にかこんなに大きくなったのかしら。ほんの親指程しかなかったのに。すごい！ 今は私の両手では回らないぐらいになっています。

気が付かないうちに育つものだね、なんて感心している場合じゃないんですよ。三年の内に苗木が育つように、子供達もいつの間にか体も心もたくましく、大きく育っているんですね。季節が変わる度に大きく成長する木のように、子供達も無限の可能性に

向って手を伸ばしていくんですね。

小学校五年の長女、三年の



長男、そして来春入学を控えた二男。運動が好きで、音楽が好きで、おしゃべりが好きで陽気な我が家の子供達。野

球上手なおじいちゃん、いつもやさしいおばあちゃん、何でもできるお父さん。にぎやかで楽しい家族です。

家庭教育なんて特別意識はしていませんけれど、私は何かある度にこう言います。

「誰だって最初から出来る人はいないのよ。一生懸命練習（勉強）してやっと出来るようになるんだから、がんばってやってごらん。」と。

この言葉がどれだけ子供達の心に残っているかはわかりませんが、夏休み中のプールでは、やる度に距離が伸びたり、タイムが縮んだり、「がんばってるよ。」と笑っていました。

そしてこの頃、私が実行している事は、一日に最低一つは誉めることです。小さい時には何をやっても、すごいねえ、えらいねえって言えたのに、少し大きくなると、何でもできて当たり前で思い込んでしまふんです。でも、視点を変えてみれば感心する事も度々です。

昨日できなかった事が今日できた。そして明日はもっと伸びる。子供達は日々成長していきます。それらを見つけないと、思っています。「よしっ がんばるゾ！」

光町の板碑

板碑は故人の追善供養と後生安楽を祈る逆修供養を目的としたもので、鎌倉時代頃から全国的に造立されました。

町内でも、各地に残っており宝米明光院、小川台隆台寺、台宗龍寺、宮内永亨寺、山柄不動院、虫生路傍七基が町の有形文化財として昭和四十七

年に指定されています。また、今年の四月には宗龍寺のほかの二基が新しく指定されました。

県内には下総板碑と武蔵板碑の二種類がありますが、町内の板碑は下総板碑に属します。

ひかりまちの風土記 ⑩



台 宗 龍 寺



小川台 隆 台 寺

指定文化財